

障がい福祉瓦版

2人と1匹(?)が歩む共生社会への道

問い合わせ先
障がい者相談支援センター
☎(37)9970

第三步

障がい者相談支援センターって? その2

【相談内容って?】

(鈴) さて、早くも3回目の掲載となりました。

(毛) 早いですねー。

(ゆ) さあ、早速本題に入ろうか。先月号で、センターで対応している相談内容については次号でと言っていたよね?

(鈴) ですね。僕らが対応している相談は本当に様々だけど、でもそれは当たり前だね。人間が生活していればそりゃ色々ありますから。

(ゆ) 妖精だって色々あるわ。

(毛) 具体的な困りごとについての相談もあれば、漠然とした不安についての相談もあったりします。

(ゆ) わかるわー。ふとした時の不安感、わかるわー。

(毛) 相談の内容を集計してみると、障がい福祉サービスについての相談が一番多いね。

【障がい福祉サービスって?】

(ゆ) 障がい福祉サービス? あまり聞き馴染みが無いんだけど、それってどういうものなの?

(毛) 総合支援法っていう法律に基づいて支給されるサービスだよ。障がいや難病などにより日常生活に何らかの制限が生じた時に、介護や就労支援を必要とする方々を対象としたものなんだ。

(鈴) サービスの一つとして、調理や掃除、場合によっては買い物などの家事のサポートをしてくれるホームヘルパーサービスがあるよ。

(ゆ) そういうものが人間界にはあるのね。でも、その障がい福祉サービスについていったい何を相談するの?

(鈴) サービスについては、いろいろな方法で情報を得ることができるとだけだね。例えば、インターネットを活用するとか。あとは県や市町でも冊子を発行しているしね。とにかく情報はたくさん溢れ

ているのが現状なんだ。

(ゆ) ふむふむ。でもそれは良いことでしょ?

(毛) そうだね。でも、たくさん情報の中から自分が必要とするサービスを使ったらよいか迷っている人も多いんだ。

(鈴) 情報がたくさんある分混乱してしまうのかもね。

(毛) 本心に欲しい情報がインターネットや冊子に載っているとも限らないしね。我々は、その人が本心に欲しい情報を得る為にいるんだ。



保健・福祉ガイドブック
栃木県障がい者福祉ガイド

【相談の対応って?】

(ゆ) それで、障がい者相談支援センターの2人は、その相談にどう対応するの?

(鈴) 例えば、仕事をしたいなと思ったら、ゆうぽんはまずどうする?

(ゆ) 仕事?

(毛) そう。ひとことに仕事の相談といっても、その内容はいろいろ。仕事に就くことや、仕事をしている中での悩みなど、その人の状況によってサービスの利用や他の支援機関を紹介していく。そんな流れかな。

(ゆ) なるほどね。相談の内容に応じて適切なサービスや人へと繋いでいくのね。前回言っていたことが何となく分かったかな。でも、状況によって適切なところに繋ぐのって、多くの情報を知っていないと難しいんじゃない?

(鈴) それが、我々の仕事だよ。情報を持っていることも重要だし、その為には人との繋がりを大切にしておくことが必要なんだ。更に言えば、相談に来られた方の抱えている病気や障がいの特性について知っておくことも必要だよ。

(毛) 生活の悩みって、病気や障がいのあるなしに関係なく、誰もが持つものだよ。でも、病気や障がいを抱えながら生活をしている人を理解

する意味でも、病気や障がいの知識をもっていることは大切だと考えているんだ。

(ゆ) たしかに。理解をして

(毛) 今は仕事についての話だったけど、状況に応じて色々な機関に繋いでいくことは、他の相談内容についても同じだよ。

(ゆ) なるほどねー。いつか妖精に繋ぐような相談もあるかしら?

(鈴・毛) そ、そうかもね...

